

崩壊！ 夢のシニアライフ

札幌市医師会
榆の会こどもクリニック

三宅 誼

私はいま76歳、いわゆる終活のまっただ中にあります。世上、テレビや週刊誌、そして医学雑誌でもロコモだ、フレイルだ、アンチエイジングだと商売がらみで盛り上がっていますが、その論調から推測するとマッチョなキン肉マン老人こそが理想像だと思っている節がありますし、社会で活発に活動するおせっかい老人が模範だと信じられているようです。そんな観点からすると、のほほんと時間をもて余している今の私は、世の理想とは対極にあるダメ老人と言わざるを得ません。

しかし、こんな私でも40歳半ばには人並みに人生の長期計画を立てていたのです。その大略をお話すれば、まず札幌とどこか山奥の2ヵ所に生活拠点を設ける。そして終生その間を行き来しながら都会と田舎それぞれの生活を楽しむことでした。また両拠点には厳しい条件があって、札幌はススキノの近所に住むことが絶対条件で、山奥のそれは山造りを死ぬまで楽しめる十分な面積があることでした。生活スタイルとしては、リタイアまでの期間は1週間のうち月曜日から金曜日までの5日間を街のどまん中に住んでススキノを核とした都会生活を満喫し、土日の休日は山人に変身して山造りに精をだす。リタイア後は山人と都会人の比重を逆転させ、週に4日は山に閉じこもり山造りに精進し、都会生活は時々というものでした。この人生の設計図をもとに計画を進めました。

まず裁判所の競売で約22町歩の安い藪山を手に入れ、次に狸小路のそばに中古マンションも購入しました。夢は着々と現実になっていったわけです。すぐさま藪山で山造りが始まりしました。密生するササを刈り、蔓を払い、植林地を広げ、川には橋をかけ、作業道も着実に延長していきました。10年ほどすると22町歩のうち半分ぐらいの整備が終わり、植林や実生から育った木々がすくすくと幹と枝を伸ばし、山を覆っていたササ原は着実に森へと転換していきました。林床には季節々々の花々が咲きそろい、わが目を楽しませてくれるようにもなりました。一方、都会の生活は雨や雪の荒天時でも狸小路を利用して傘要らずで用を足せる生活、隣接するススキノを気の向くままに普段着とサンダルで散策できる優雅な生活に大満足していました。そして数年前までこんな生活がず〜っと楽しめる、リタイア後も後期高齢者になっても続けていけると固く、固く信じていたのです。

しかしです、この計画には重大な欠陥がありました。「老い」という重大な負の要素を減算することを忘れていたのです。齢というものは残酷なものです。体力を失い、パワーが衰え、バランス機能が劣化し、気力も低下して…まず山仕事には必須のアイテムであるチェーンソーや刈り払い機などの機械類を必要な時間、安全に振り回すことが難しくなりました。当然ながら事故の危険性も増してきました。そしてその結果は火を見るよりも明らかです。私の焦りや苛立ちをあざ笑うかのようにササはわが生活圈を侵略、包囲して殲滅を企ててきました。このままでは数年を経ずしてもとのササ原に戻ってしまう勢いなのです。作業道はいたるところで途絶え、若木には蔓が絡みつき、橋は朽ちていきましたが、それを回復させる私の心身の能力は着実に失われていきました。

さらに加えて新たな問題が発生しました。熊の跋扈です。ここ数年札幌市内でも目撃情報が急増しているようですが、わが山でも朝といわず夕といわず、いつも身近に気配を感じるようになったのです。山だから熊がいるのは当たり前だと胸を張ってみても所詮は強がりにすぎません。もう諦めざるを得ません、そこで今年の正月に一大決心をしました。ほぼ30年にわたって慈しみ育ててきたわが愛する藪山を「自伐型林業」を推進する若手の林業集団に寄付をすることにしましたのです。林業家を目指す青年たちの情熱にわが夢を託したわけです。

さて、もう一方の都市生活ですが、ここでも年齢にともなう問題が次々と露呈しました。当初の計画では、日課としてススキノを探索し、まずは1杯のビールでのどを潤し、つぎは豊潤に磨かれた日本酒を小粋な小鉢とともに楽しみ、最後はハバナ産の葉巻をくゆらせながらブラックオリーブを肴にカクテルグラスを傾ける…でしたが、近頃は味覚が衰えて何を食べても美味しくなく、食欲も減退、ついでに糖尿病で主治医からビールや日本酒は禁止されワイン少々と焼酎だけ。心臓にはステントが入って禁煙。さらには焼酎のお湯割り2杯で眠くなり、女房の哀れみをかうに至っては何をか云わんやです。ということでススキノともすっかり疎遠になり、町の真ん中に住むメリットは女房が通うデパートが近いこと以外には見当たりません。

こうして山に住みながら都会生活も楽しむという私の老後の大計画ははかなくも潰えました。いまや散歩、図書館通い、たまにススキノの生活を余儀なくされ、落魄の身を世に晒しているのです。粋がって無気力、無聊、無為、無策と、ないない尽くしの老後も一興だと開き直ってみても心の飢餓感が癒されることはありません。ここは心機一転、小っちゃな土地でも借りて家庭菜園でも始めますか。